



58号 2013.7.20

歩み展in熊谷にて体験歩行



<特集>

平成25年度

アイメイト後援会総会(リポート&総会資料)

日本一暑い街・熊谷で

「歩み展in熊谷」を開催

TOPICS

- アイメイト協会新入職員のご紹介
- EVENT Pick Up! 嬉しいサプライズも!「オール学習院祭」
苦勞の末に実現!「上野公園募金活動」

- 太鼓で交流してます

～アイメイト使用者が和太鼓の合宿に参加～

- 使用者の八方順子さんが毎日新聞で紹介されました
協会だより

アイメイト卒業生人数
アイメイト募金実績報告
第37回アイメイト・デーのお知らせ

連載記事

- 連載3回目「飼育日誌」
～犬連れ旅行とカウントダウン～
- 新連載 元アイメイト使用者橋本三郎さんに聞く
「アイメイトの思い出」
- 【後援会メンバー紹介】 (福地 隆子さん)
(福原 美緒さん)
(保科 和子さん)
- 同窓会自己紹介リレーはお休みです。

後援会からのお知らせ

- これまでの行事・活動&これからの行事・活動
- 新グッズのご案内
- 後援会HPよりブログ「グッズストーリー」
- アイメイト募金芳名録
- 役員会議事抄録
- 会員のページ

アイメイトデーお手伝い募集

塩屋先生と河相
瀬さんの貴重な
写真パネルだよ。



歩み展 in 熊谷より

平成25年度アイメイト後援会 総会

〔2013年4月13日(土)〕

2013年4月13日(土)、アイメイト後援会の年次総会がアイメイト協会の3階会議室で開かれました。当日は、出席会員数29名、家族他3名、委任状144名となりました。また、アイメイト協会からも職員16名が出席してくださいました。



■ 第1～6号議案を承認

総会は、予定通り13:30に開会。第1～6号議案までが承認されました。(詳細は、後半の総会資料をご覧ください。)

次期役員としては、以下の候補者が挙げられ、出席者の承認を経て選任されました。

荒井公江、井上裕子、大山伸、加藤隆久、鈴木薫、鈴木節子、富沢ゆき子、福永達子、水野晴彦、三村徳子(五十音順)

なお、会長、副会長、会計、会計監査の役職については、役員会で決定することとなりました。

■ 募金とグッズ販売の収益金を寄付

後援会では年間を通じて、募金活動やグッズ販売などを各地で行ってきました。

募金については、直接協会に送金する形も定着して、新しい募金箱も、古いものと順次取り替えて使用しています。設置場所を増やす努力も続けており、平成24年度の募金額は、街頭募金活動との合計で1,151万円となりました。

また、グッズ委員会では、昨年3月からネット通販を開始しましたが、起動に乗るのはまだこれからというところです。24年度の売上額は約784万円となり、その収益金は前記の募金同様、アイメイト協



会への寄付とさせていただきます。

こうした後援会活動及び寄付に対して、アイメイト協会から後援会へ感謝状が贈られました。

■ 職員へ靴券を贈呈

アイメイト協会職員へ後援会から「靴券」を贈呈しました。暑い日も寒い日も毎日、アイメイトと一緒に歩き続ける協会職員を応援しようということで、例年続けているものです。贈呈後は、協会職員を代表して、鈴木裕司さんからお礼の言葉をいただきました。



■ 新入職員の自己紹介

2013年4月から新たに入った新入職員から、自己紹介とご挨拶があり、後援会員からは期待と応援の拍手が贈られました。

■ アイメイトプレゼンテーション（鈴木裕司さん）

総会終了後、協会職員より、アイメイト使用者への誘導方法などについて、

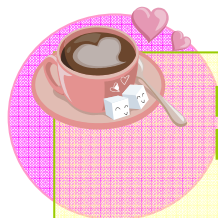
- ①誘導は、ななめ後ろから声で行う
- ②方向の指示はクロックポジションで

などを、教えていただきました。イベントの際など、様々な機会に誘導することがある後援会員ならぜひ知っておきたいポイントだと思います。



■ アイメイト使用者講話（水野晴彦さん）

そして、アイメイト啓発のため、学校をはじめ様々な機会に講演活動をしているアイメイト使用者 水野晴彦さんのミニ講演がありました。講演は、使用者がアイメイトとともに歩くために普段持ち歩いているグッズ紹介に始まり、街で声を掛けられる時や誘導の時には、どんな表現がわかりやすいかなど、駅のホームでの経験談などを交えて楽しく説明していただきました。



- 優しさ、思いやりに、暖かい気持ちに。
- アイメイトへの熱い思いを聞いた後援会総会。

《参加した後援会員の感想》

● 飼育奉仕の長谷川岳子です。4月13日（土）、初めて後援会総会に出席いたしました。鈴木会長のご挨拶で始まり、厳粛な雰囲気テンポよく総会は進みました。

その後、鈴木指導員より“使用者の方の誘導の仕方”について、大変勉強になるお話がありました。そして、使用者水野氏のユーモアたっぷりのお話で笑わせていただきました。

懇親会では、美味しいお菓子、サンドイッチを頂きながら、楽しいひとときを過ごしました。

私はいつも、アイメイトボランティアを通じて皆様の優しさ、思いやりを感じて暖かい気持ちになります。この日もそんな気分のまま、息子とお留守番をしているCちゃんの元へ急いで帰りました。

（長谷川 岳子（たかこ）さん）

● アイメイト協会とのお付き合いはだいぶ長くなりましたが、後援会総会には、初めて出席しました。総会は滞りなく？終了。その後の懇親会で、出席されたみなさまのアイメイト協会そしてアイメイトへの熱い思いを聞くことができ出席してよかったな、と感じました。

現在我が家には、2頭目の不適格犬がいます。アイメイトにはなれませんでした。アイメイト協会犬だということを、再認識しました。今後も協会の看板を背負って、の気持ちを忘れずに楽しく生活できたら、と思います。これからは、もう少し会費を払うだけではない会員になろうかしら…。

（田村 恵里子さん）

日本一暑い街・熊谷で 「歩み展in熊谷」を開催

2013年
6/27(木)▶7/ 1(月)

10:00～19:00(最終日は17:00まで)

於・八木橋百貨店8Fカトレアホール
(埼玉県熊谷市仲町74)



歩み展としては第5回となる「歩み展in熊谷」を、2013年6月27日(木)から7月1日(月)まで、埼玉県熊谷市の八木橋百貨店で開催しました。会場となった8Fのカトレアホールは、コンサートが開催できるほどの立派な施設。約100点に及ぶパネル展示のほか、週末となる6月29・30日にはアイメイト協会による体験歩行や使用者のギャラリートークも行われました。

開催概要

日程：2013年6月27(木)～7月1日(月)

会場：八木橋百貨店8Fカトレアホール
(埼玉県熊谷市仲町74)

展示時間：10:00～19:00
(最終日は17:00まで)

主催：八木橋百貨店、アイメイト後援会
協力：公益財団法人アイメイト協会

後援：埼玉県、熊谷市、熊谷市教育委員会

「歩み展 in 熊谷」の報道など

埼玉新聞やテレビ埼玉など、地元のマスコミに「歩み展in熊谷」の情報を紹介していただきました。特に、歩行体験などのイベントがある6月29日(土)にはテレビカメラが取材に入り、会場は大いに賑わいました。

また、八木橋百貨店から発行されたチラシ約22万部にも歩み展の情報を紹介していただき、アイメイトの啓発に大きなサポートとなりました。まさに、日本一の熱気と情熱でアイメイトをサポートしていただいた「歩み展in熊谷」でした。

◆左写真：会場入口で来場者に説明する協会スタッフを撮影するテレビ埼玉のクルー。

◆右写真(4枚)：6月29日17:45より、テレビ埼玉の「News & Weather」でオンエア。





■ 歴史とボランティアのパネル約100点を展示

アイメイト協会の創設者であり国産盲導犬第1号を生んだ塩屋賢一氏の足跡を辿るパネルや、ボランティア活動を紹介するパネル、そして、河相澁さんとチャンピイの写真など、計約100点のパネルを展示し、アイメイトへの理解促進と普及啓発を行いました。



■ アイメイトを支援するチャリティーグッズを販売

会場の入口付近にグッズコーナーを設置し、アイメイトを支援するチャリティーグッズを販売しました。ぬいぐるみ「あいと」君をはじめ、かわいいグッズに人気が集まり、期間中の売上は計205,000円、そして、募金は86,921円となりました。



■ アイメイト歩行の体験

アイメイト協会の協力により、6月29日(土)・30日(日)に計4回、体験歩行イベントを開催しました。参加者は皆、協会スタッフの説明を熱心に聞いていました。そして、実際にアイマスクをして歩くと、見えないこと、そしてアイメイトと歩くことがどんなものなのかを実感し、深く感心していました。



■ アイメイト使用者による“風を切って歩く幸せ”

週末はまた、アイメイト使用者によるギャラリートーク“風を切って歩く幸せ”も開催しました。使用者の方が次々とステージに上がり、アイメイトを得たことで変わったこと、歩行指導の苦労、社会参加にあたって社会に広く知っていただきたいことなどを語っていただきました。



■ みんなの力で成功させた「歩み展 in 熊谷」

準備から設営、当日の対応、片づけまで、スタッフとして参加した後援会員はのべ38名！（他協力者のべ9名。）県内のみならず、東京、神奈川、群馬から参加したメンバーもありました。八木橋百貨店のスタッフの方々も皆とても温かく、一生懸命サポートしてくださいました。また、使用者の方もたくさん参加してくださいました（のべ11名）。アイメイトを応援する気持ちが、そして、みんなの心が集まって成功させた「歩み展」でした。これからも、がんばっていきましょう！

EVENT Pick Up!

4月14日(日)10時～15時 / 参加者:後援会21名(内使用者4名) 候補犬2頭+ふれあい犬10頭 ほか

「オール学習院祭」

■皇太子ご夫妻がご来訪

■使用者の手をとってお話を

後援会にとって、オール学習院祭への参加はおそらく10～15年はゆうに続いていると思います。そんな毎年恒例のイベントですが、これほどビッグな方のご訪問は初めてのことでないでしょうか。

まず、13時半過ぎに、愛子さまがご学友とともにいらして体験歩行をなさいました。その後も愛子さまはアイメイトの犬達をなでたりし遊んでいました。

そして、皇太子ご夫妻がいらしたのが14時少し前。最初に協会職員とお話をされ、そして鈴木会長に話を聞いた後、ブースにお立ち寄りになり、使用者の方一人一人の手をとり、お話をされたということです。



協会職員からは、不適格犬やイベントの内容、そして愛子さまの体験歩行の様子について、そして鈴木会長からは、繁殖犬やアイメイト候補犬についての説明をお聞きになったということです。

側にいた後援会員によると、こんなに長くお話しすることなんて、宮内庁主催の春・秋の園遊会でもないのでは？と感じたとのことで、本当に素敵なサプライズがあった今年のオール学習院祭でした。

EVENT Pick Up!

5月18日(土)13時～16時 / 参加者:後援会11名(内使用者2名)、上野LC・城東LC16名。ふれあい犬8頭

上野公園募金活動

■絶好の“募金日和”に

■東京の北の玄関、上野で初めての募金活動

東京の北の玄関、上野の地で初めての募金活動を企画したものの、警察へ申請しての道路使用でなく、東京都公園緑地課の許可が必要でした。しかし、これが容易に得られず、書類準備などの苦労を経て4月21日に実施が決まりました。ところが当日の天気予報は雨のち曇り。更に朝から冬の寒さといった具合で、迷った末に残念ながら中止と決めました。

その1カ月後にやっと実現となった今回。天候もよく絶好の“募金日和”でした。場所はJR上野駅「公園口」改札を出てすぐの上野公園入口です。公園の来場者はじめ、美術館・博物館など多くの利用者が訪れます。歩道も広いので、効率的に場所を活用することが出来ました。いつもの様にメンバーの



大きな声と、行き交う人の多さで終始賑やかな募金活動となり、成果もあげることが出来ました。

やはり家族連れが多く、ふれあい犬が大活躍しました。また、飼育奉仕などボランティアの事や盲導犬育成団体に関してなど多岐にわたる質問を受けました。そんな時はチラシ「こんにちワン」を開いて説明をするのが有効的です。一般の方へいくらかでもご理解いただいたと自負しています。

なお、ライオンズクラブよりリクエストがあり今秋10月にも実施の申請をする事となりました。

元アイメイト使用者 橋本三郎さんに聞く アイメイト の思い出

菜の花募金へのご尽力など、長くアイメイト使用者として協会の支援活動にも携わってきた橋本三郎さんに、アイメイトとの思い出について伺いました。

■最初の歩行指導は、昭和59年の春 ■アイメイトと共に生きる新たな経験

私が最初のアイメイト・クララとの訓練を受けたのは、昭和59年の春でした。

私は30代半ばに糖尿病性網膜症で失明しましたが、その失明がもたらしてくれた素晴らしい贈り物がありました。それはアイメイトと共に生きるという新しい経験です。最初のアイメイトはクララというメスのシェパードで、2頭目はカンナと言うメスのラブラドル・レトリバーでした。

アイメイトを得るには読者の皆様はすでにご存じと思いますが厳しい訓練があります。

4週間の合宿訓練で120キロほどの歩行訓練と毎晩2時間ほどの講義や健康管理・排便処理などの内容です。その訓練中に私は生涯忘れることの出来ない体験をしました。クララとの訓練は3月半ばから始まり中途失明の私は白杖歩行もままならず、ましてや犬と一緒に歩く事など想像も出来ませんでした。そして歩行訓練が10日程たったある日、春風が心地よく頬を撫でサクラの花がひらひらと舞う日のこと、クララと私はいつの間にか周囲の人を追い越すほどスイスイと歩いて行けたのです。心地好いハーネスの響きと共に鼻歌が出る程で自分が目が見えていないという現実を一瞬忘れる程でした。



◆左写真：1頭目のクララ（シェパード）とともに。歩行指導に入って10日ほどが過ぎたとき、いつの間にか周囲の人を追い越すほどスイスイと歩けるようになっていた。◆右写真：2頭目のカンナ（ラブラドル・レトリバー）とともに。2頭のアイメイトは今も、橋本さんの心の中に生き続けている。

その時歩きながら「クララ有難う」と叫んでいました。そして熱いものが込み上げ鼻の奥がツーンとして涙があふれてきました。その瞬間私はそれまでに感じたことのない感動で全身を貫かれ、形容しがたい至福感に生かされました。歩くことの自由を奪われた中途失明者に10日程前に与えられた一頭のアイメイトが一生懸命に私の命令通りに歩いてくれ、純粹で新鮮な感動を与えてくれました。私は二頭のアイメイトとの生活の中で感じたことが沢山ありました。

雨の日も風の日もいつでもどこへでも尻尾を振って出掛けてくれる忠誠心や歩くだけでなく愛・勇気・知恵・友情など、打算を持たず多くのことを教え与えてくれました。その付き合いの中で他を思いやる本当の愛を教えてくれました。アイメイトが純粹な気持ちで視覚障害の人を守り無償の愛と奉仕の心で共に生きる喜びを与えてくれました。

■私の人生を支えてくれる二頭のアイメイト ■今も心の中に生き続ける

クララは残念ながら7才で別れることになりました。それは直腸ガンにかかり徐々に痛みと便の回数が頻繁になり、夜中にも申し訳なさそうな小声で排便を知らせていた声と東大病院での最後に別れる時の悲鳴に近い「ウオウオーン」と叫んだ声は今でも耳に残って胸を締めつけます。

カンナは私の腕の中で17才の生涯を終えました。二頭のアイメイトは今も私の心の中に生き続け、私の人生を支えてくれております。



《イベント》

《参加者敬称略・順不同》

3/20(水・祝) LC 合同募金活動

京橋 LC・八重洲 LC・長谷川(圭)・大山・水野(玲)・古川・高澤・鈴木 3・他

やや曇り空、でも満開の桜の下、お馴染みの銀座募金です。卒業式シーズンで袴姿の女子学生が桜に負けず劣らずあたりを華やかに演出していました。募金場所が交差点のところなので、信号待ちの車が窓から視線を注ぎます。黒のフェラーリの運転手が窓をスーと開けて、1 万円札を差し出したので、駆け寄りました。カッコイイ～！（鈴木）

4/4(木) 川口モーニングロータリークラブ チャリティゴルフコンペ

川口 MRC 様へ委託でグッズ販売にご協力頂きました。毎年のご支援に感謝致します。

4/6・7(土・日) 大好きいばらきふれあいまつり 古橋他 20 名、アイメイト使用者・稲村・佐藤、犬:10 頭

当日は台風並みの暴風雨という予報でしたが思いの外天気にめぐまれ、桜吹雪の中、震災後 3 年ぶりの開催となりました。協会職員には、体験歩行とステージ上に全員が参加でアイメイトの PR をして頂きました。人も犬も久しぶりに会ったで、会話が盛り上がり。グッズ販売、チラシ配布、お触り犬達も大活躍。夕方 4 時、雨と共に解散となりました。（古橋）

4/13(土) アイメイト後援会総会

後援会員出席者 49 名

PM1:30～総会/2:30～協会プレゼンテーション・使用者の話/3:00～懇親会茶話会…＊詳細別途



4/14(日) オール学習院祭

荒井・水野(玲)・古川・高澤・水野(晴)2・藤井・佐々木・永田・水野(京)・松澤 2・鈴木 2・武田・森田・市川・富沢・飯島 2・他

プログラムにはアイメイト体験歩行の写真入りで、開始前から行列の人気です。突風でグッズが飛ばされ大慌て。触れ合い犬が 9 頭+アイメイト 4 頭+訓練犬 2 頭。スタッフと犬の数で盛り上がり、究極の盛り上がりは皇太子ご一家でした。

4/21(日) かすみがうらマラソン大会 菅澤 3・柴田(由)・稲村 2・他

三年に一度の招待で参加ですが、更に震災で中止もあって、4 年ぶりの参加でした。雨の上に記録的な春の寒さで、人出が少なく、ランナーも応援者も震えていました。小学生の孫が元気よく声を掛けて、アイメイトも触れ合い犬も皆で頑張りました。（菅澤 談）



4/29(月・祝) 東京女子大園遊会

三村・河原・馬淵・武村・功力・高澤

一年に一度、顔なじみのメンバーが集まって、楽しくグッズ販売とチラシを大声で配って、啓発活動をしています。好天気にめぐまれて気持ちの良い一日。昨年までの平井さんのお顔が見えず、寂しいわねと皆で話しました。（三村）

5/11(土) アイメイト協会同窓会総会

福永・井上・大山・加藤・森田・武田・長谷川(岳)・市川

同窓会総会に出席の使用者へ協会最寄駅の東伏見から協会までの道のりをサポートしました。又総会後のグッズ販売も好評でした。たくさんのアイメイトがお行儀よく使用者の元で“ステイ”していて、居るのを忘れるほどです。

5/11(土) LC 合同募金活動(川崎)

川崎橋 LC・大西・長谷川(圭)・水野(晴)2・鈴木 2

川崎駅出口近くの広い通路で大勢の LC のご協力で声を張りあげ行き交う人へアイメイトの支援をお願いしました。手にした募金箱が時間の経過とともに重くなってきて、皆様へ感謝の思いが募ります。LC と参加者にも感謝です。

5/18(土) LC 合同募金活動(上野)

城東 LC・高澤・水野(晴)2・大山・福永・富沢・長谷川(圭)・鈴木 2・大西

上野公園で初めての募金活動です。パンダの公開もあり、週末の賑わいは予想通りでした。終了後は活躍した犬達と公園内を散歩してから帰路につきました。…詳細別途

5/28(火) 明治神宮崇敬会

佐藤(典)・鈴木 2

地方からも沢山見える、崇敬会婦人部総会は年 2 回開催です。神社の参拝、講演などの合間に、お馴染みのお客様がリピーターで買物をされて新グッズのコットンショールが完売となりました。福祉関係の少数の出店者とも顔なじみです。

6/2(日) 西東京市ボランティアの集い 長谷川(岳)・清本・三瓶・金澤・伊藤(嘉)

ボランティアセンターの依頼で、初めての参加です。来場者は多くなくてもグッズの売行きは好調でした。お天気も良く、ちびっこが沢山来てくれました。アイメイトのライナスくん、不適格犬のラリーくん・モールくんが頑張ってくれました。

6/27(木)～7/1(月)

設営～撤収までの 6 日間 延べ人数 58 名

盲導犬の父 塩屋賢一とアイメイトの歩み展 in 熊谷 (埼玉・東京・神奈川・群馬より参加)

八木橋百貨店の全面的なご協力で実施することが出来ました。猛暑前のまだ穏やかな気候で、老舗の落ち着きが漂うなか、地元の人と遠方から足を運んだメンバーとで和やかに交流することが出来ました。…詳細別途



* 予定が変更となる場合があります。参加の際は担当者や後援会ホームページでご確認下さい。

	《イベント》	《場所》	《担当者》
9月14日(土)	聖心宮代祭	聖心女子大学キャンパス	大熊(03-3729-4711)
9月16日(月・祝) 14:00~17:00	LC 合同募金活動 * 八重洲ライオンズクラブ	銀座数寄屋橋交番前	鈴木(03-3878-7353)
9月23日(月・祝)	動物愛護フェア川崎	川崎駅アゼリア地下街	島田(044-544-8581)
9月23日(月・祝)	青山学院大学同窓祭 AOYAMA GREEN FESTIVAL	青山学院大学キャンパス	飯島(03-3952-9201)
9月23日(月・祝)	♪大石亜矢子チャリティコンサート ☆盲導犬の父 塩屋賢一とアイメイトの歩み展 in 古河 (同時開催)  アイメイト使用者の大石さんはソプラノ歌手、ピアノ弾き語りとして活躍されています。 チャリティコンサートの会場ホールに於いて、第6回目の“歩み展”をパネル展示で同時開催します。 古河市とねミドリ館 松澤(090-2620-1093)		
9月29日(日)	品川宿場祭り	品川区旧東海道近辺	荒井(03-3717-9506)
9月29日(日)	青葉台福祉祭り	横浜市青葉台地区	三村(045-981-4188)
10月6日(日)	アイメイト・デー  * 新宿駅～会場までの誘導・会場内の案内・受付・グッズ販売など多くの皆様のご協力が必要です。皆様のお申し出をお待ちします。又、担当者から依頼をさせて頂く場合もありますのでご協力のほど宜しくお願い致します。…詳細は最終の“会員のページ” 新宿京王プラザホテル 鈴木(03-3878-7353)		
9月～10月 * 日程未定	LC 合同募金活動 * 川崎ライオンズクラブ	JR 川崎駅構内	鈴木(03-3878-7353)
10月12(土)～13(日)	古河関東・ドマンナカ祭り	古河市中央運動公園	松澤(0280-98-4421)
10月12日(土) 13:00～16:00	LC 合同募金活動 * 城東ライオンズクラブ	JR 上野駅公園口前 上野公園入口付近	鈴木(03-3878-7353)
10月19日(土)	江東区民祭り	江東区木場公園	鈴木(03-3878-7353)
10月26日(土)	アイメイト同窓会レクリエーション ☆9:30 京急品川駅集合 くりはま花の国(神奈川県横須賀市) ハーブ園、コスモス園散策・香水作り体験・冒険広場など。 お手伝いを兼ねて楽しい一日をアイメイトペアと一緒に過ごしましょう♪ 変更の場合もありますので詳細は担当者まで。  大西(080-5317-3969) 鈴木(03-3878-7353)		
11月3日(日・祝)	明るい社会を作る会バザー	豊島区池袋西口公園	飯島(03-3952-9201)
11月30日(土)～31日(日)	熊谷市産業祭	熊谷スポーツ文化公園	山田(0485-96-3427)



私たちも参加
しますワッ!

飼育日誌



アイメイトの飼育奉仕の実際をつづる飼育日誌第3号。乳歯から永久歯に生えかわり、次の成長のステップへ。そして、1歳になると飼育奉仕の終了期間が近づいてきます。

※協会の方針に則り、子犬の名前は仮名の「アイちゃん」としています。

おとなの階段

生後 10 か月

乳歯から永久歯に生えかわり、次の成長のステップは、メスには生理がやってくる。アイちゃんは、生後 10 か月で生理が始まりました。だいたい 1 歳になる前に 1 回目がやってくるので、メスの子犬を預かる場合はちょっと覚悟が必要です。だって、3 週間も続くのですから（長い！）。

我が家に居た一番の早熟ちゃんは、生後 7 か月と 14 か月の 2 回も生理になりました。

犬用パンツをはかせることもできます。しっぽ用の穴を開けたパンツを後援会の先輩から教わって作りました。でもおしっこ回数が多い子には不向きかも。

お散歩の時はオス犬との接近に注意です。でもね、ほとんど苦労したことはありません。だって、我が家の近所をお散歩している犬達は、普段から体の大きなラブには近づいてこないんだもの。フレンドリーに近づいて匂いを嗅ぎ合ってご挨拶できる犬は 2 割いるかな？

アイちゃんは遊びたいのに相手にしてもらえません。少し距離を置いた所で、シットかダウンして近づいて来てくれるのを待っているのに、ほとんどが逃げられたり吠えられたり…。

でも吠えられても、けっして吠え返したりしません。これは今まで預かった他の 4 頭もそうでした。さすがアイメイト候補は子犬のころから一味違います！

生理中は、外でおしっこをしたがる傾向があります。おしっこは家のトイレ専門だったのに、お散歩中になくなった子もいたし、なんとアイちゃんは、生理の終わり頃には外でしかしなくなっていました！



犬用トイレは同じ場所にずっとあるのに…。こんな初めてです。生後 10 か月にして、ワンツー問題再発！しかたなく、午前と夕方の散歩の他に、朝と寝る前にもワンツーのために短時間外に出る生活となってしまったのです。そして、買いだめしてあったトイレシートが大量に余ってしまったのだった！！

犬連れ旅行

生後 11 か月

アイちゃんの生理が終わり、娘の受験も終わったので、2 月末に 1 泊の犬連れ家族旅行に行きました。

宿を選ぶ時、今回は看板犬も大事なチェックポイントとしました。数年前に V ちゃんと看板犬が 10 数頭いる宿に泊まった時のこと、客の犬が入ると宿の犬が群れて吠えながら押しかけてきて、V ちゃん

は（体はずっと大きいのに）しっぽを丸めて逃げ回った経験があるから。暑い時期には、M ちゃんと犬用屋内プール（25m）と雨の日でも遊べる体育館付きのホテルに泊まっ



伊豆高原のペンション

犬連れ旅行とカウントダウン

飼育日誌 No.3

た思い出もある。秋には犬連れキャンプでテントに泊まったことだってあるんだよ。

悩んだ挙句に選んだのが、フレンドリーなラブ（看板犬）が居る伊豆のペンションにしました。ペンションの中は、アメリカン・カントリー・ウエスタン調。いたる所にラブラドルの装飾インテリア。ラブ好きにはたまりません。

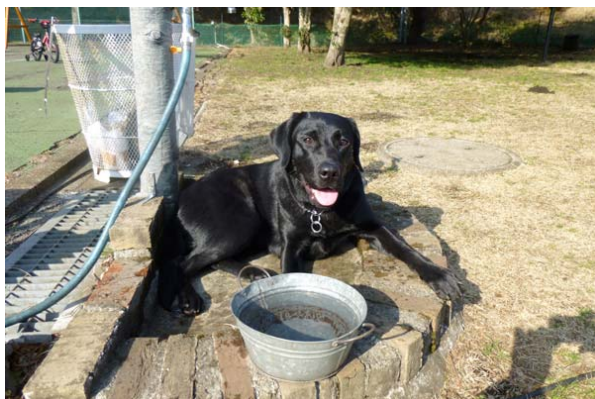
盲導犬は宿代は無料とあったので、予約時に飼育の話をしたら、アイちゃんの宿代は無料にしてくれました。お礼と宣伝を兼ねて、アイメイトサポートカレンダーをお土産に。ロビーの目立つところに飾ってくれました。

アイちゃんは看板犬のラブのコトちゃんと宿のドッグランでおもいっきり走り回りました！後からもう一組のお客様の黒ラブも加わり、2頭の後ろを追いかけてました！！

ドッグランの真ん中に2m5mくらいの組立式プールがあり、HPには夏用とありました。が、コトちゃんは走り回った後、冬だというのに、ザブ〜と飛び込み、だぁ！と飛び出し、また走るという、超〜驚きのワイルド犬だったのです。常連さんの黒ラブちゃんもそうでした。

さすがにアイちゃんは、1度も飛び込もうとはしませんでした。大満足の様子でした。

城ヶ崎海岸のお散歩、つり橋のある遊歩道は気持ちのいいコースでした。



カウントダウン

1歳になると

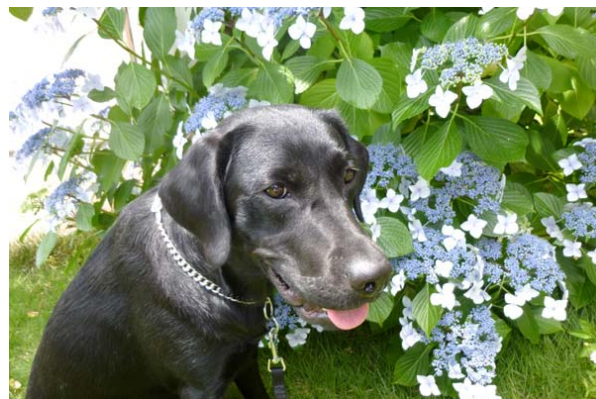
子犬と散歩をしていると、よく「まだ幼いんですよ？」と聞かれる。「はい、生後何か月です。」と答えるので、一緒に暮らしている月日をカウントして積み重ねていく。

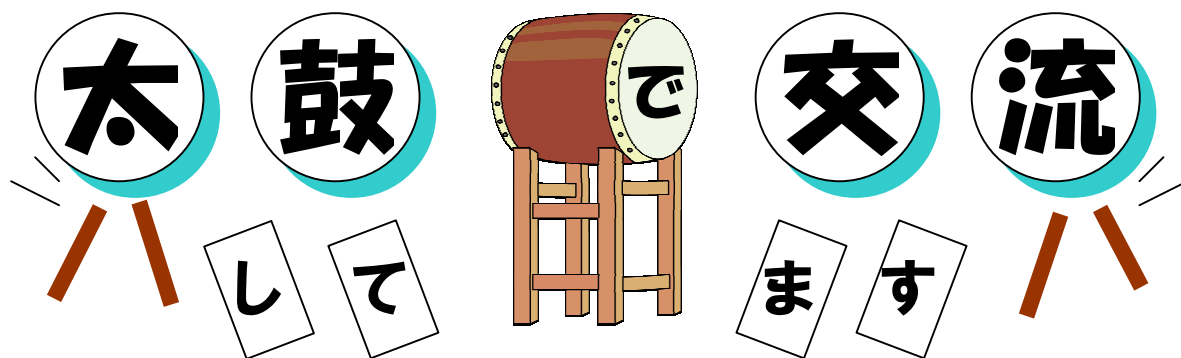
ところが、「ちょうど1歳です。」と答える頃になると、飼育奉仕と知っている人からは、「あと少しでお別れ？」と聞かれて、残りの期間が「あと2か月くらい」と減っていく。子犬とのお別れまでのカウントダウンの生活に入る。切ないんだな、このカウントダウンが。

「もう1か月切ったかな」と思っていた頃、協会から電話がきた。兄弟犬の引き上げは一度ではなく、アイちゃんは少し長めでお願いしたい、と。飼育期間がおよそ2か月延びました！

この飼育日誌は3回目にお別れのことも書いて連載終了の予定でしたが、ちょうど発行のころにお別れとなります。

では、最近のアイちゃんの写真を、庭のアジサイの前で。読者の皆さんの中には気が付いた方もいらっしゃるかな？ 今年のアイメイトサポートカレンダーの6月の写真。アジサイと生後3か月の黒ラブが2匹。実は、横向きがアイちゃん、正面向きはご近所に住む兄弟犬です。





アイメイト後援会 加藤 隆久

■太鼓合宿に江黒さん、磯村さんが参加

私が趣味で続けている和太鼓の会「未来太鼓道場」に、アイメイト使用者の磯村千夏さんと江黒知子さんが参加するようになって半年が経ちました。今回、年1回行なわれる1泊2日の合宿にお二人が参加され、まわりの方たちとも良い交流ができたようなので、その様子をお伝えしたいと思います。

合宿は、6月8日(土)、9日(日)に神奈川県「いこいの里(小田急線、新松田駅下車)」で開催されました。合宿所についてはアイメイトのワンツー場所、二人の部屋と食堂への同行、入浴など様々な場面を想定し、事前に太鼓の先生に下見をお願いしてあったのですが、それでも初めての経験に先生達も私も不安は尽きませんでした。

いつも一緒に練習している仲間だけでなく、他の教室との合同合宿でしたので、後日伺いましたら受入側の先生方、合宿に参加した道場生たちも、アイメイトへの対応の仕方に心配があったそうです。

しかし、いざ太鼓練習を開始してみれば、その不安をよそに二人は楽しそうに太鼓を打っていますし、最初は多少戸惑っていた先生方や道場生も、太鼓への誘導や自然な声掛けをして下さっています。私はそれを見て安心致しました。夕食、入浴も皆さんのご協力により順調に進み、このようにして初日は無事に終了しました。

また夜になって、日常生活の中で視覚障害者やアイメイトと身近に触れる経験がなかった道場生が二人の部屋を次々と訪れ、色々と話を聞いていましたが、知らなかった世界を知る機会が持てて良かったと感想を頂きました。



太鼓を打つ二人。奥：磯村さん(水色) 手前：江黒さん(ピンク)



2日目は合宿恒例の 300 行と言って、組毎に分かれ同じ曲を 50 回叩き続ける大変な練習でしたが、組の仲間は特に事前打ち合わせなどもなく、自然に二人を太鼓に誘導してくれていました。

2日間の合宿が終わり、帰宅の電車内で江黒さん、磯村さんから「合宿に参加して先生方や太鼓の生徒さんたちと交流が持て嬉しかった」という感想を聞き、次は発表会に出て仲間の皆さんと再会しようねと約束いたしました。二人を合宿に参加させたいという願いと責任が果たせ、今はホッとしております。

今後もアイメイト使用者の方や後援会の方の中で、太鼓をやりたい、又は体験をしたいと思われる方には、是非参加していただきたいと思います。

■終了後に、指導にあられた先生と参加されたお二人から、以下のようなメールをいただきました。

いつも指導して下さい

◎秋◎山◎ ◎桃◎ 先生

江黒さん、磯村さんが楽しんでいただけて良かったです！
何て声をかけていいかわからなかった生徒さん達も、目のことも遠慮せず聞いてくれていいんだよ～って磯村さんがおっしゃってくれたことで、お部屋に遊びに行ってお友達とも触れ合えて普段できないことや知らなかったことを知れるいい機会にもなったと思います。私も大変勉強になりました。



滅多に打てない大太鼓、貴重な体験でした

今回の合宿でご指導いただいた

梵天 ◎小◎林◎ ◎政◎高◎ 先生（未来太鼓道場代表）

2日間お疲れ様でした。目が見えない中で、うちの合宿は本当は無理ではないかと最初は思いましたが、諸々内容を修正し、また周りの皆様のご理解ご協力もあり、何とほぼすべてのプログラムを体験され私もホッとしております。お二人にとっても大変なチャレンジであったことと思いますが、これまで歩いてこられた道を考えれば、きっと小さなことだったことでしょう。

でも新しい体験が少しでも有意義な時間として考えてもらえるなら、サポートしたメンバーにとっても意義あることです。そして、障害への理解が、我々にとっても今後生きるうえできっと生きてくると思います。



アイメイトと一緒に記念写真を撮りたいという仲間が集まってみんなでパチリ。アイメイトたちは、練習中はロビーで待機していましたが、休憩時にはお水をもらっておとなしく待っていました。

◎磯◎村◎ ◎千◎夏◎ さん

合宿ではお世話になりました。正直最初は障害のある私が参加していいのかと戸惑いと不安でいっぱいでした。でも、実際に参加してみると、小林先生や桃先生をはじめとしたスタッフの方々の暖かい心遣いと、合宿に参加された道場生の皆さんの優しさに支えられて、充実した二日間を過ごすことができました。

最初のオリエンテーションで私たちの「目」であるアイメイトについてのお話をする時間をいただけたこと、そしてそれを聞いてくださった皆さんがアイメイトのことを理解して接し方のルールを守ってくださったことに深く感謝申し上げます。

夜には「磯村さんとお話したくて」と、あゆ先生と町田の皆さんが部屋を訪ねてくださったことがとても嬉しかったです。合宿を終えた今は、言い尽くせない感謝と感激でいっぱいです。

本当にありがとうございました。来年も是非また参加できたらと思います。

◎江◎黒◎ ◎知◎子◎ さん

合宿では本当に色々とお世話になりました。色々お手伝いいただいて、おかげさまで楽しく参加できました。感謝です。本当にあれだけやると体にしみこむように覚えることができますね。ちょっと進歩した気がします。できる範囲で楽しく頑張りたいと思います。またよろしくお願いします。



使用者の八方順子さんが、
毎日新聞で紹介されました！

新聞に掲載の写真を、海洋写真家・案納昭則さんにご提供いただきました！
八方さんのまぶしい笑顔が素敵です♪

※毎日新聞社から許可をいただいて
転載しています。

盲導犬が世界広げた

日本で初めて盲導犬が誕生して今年で55年。以来、盲導犬は視覚障害者の歩行介助にとどまらず、社会参画を促してきた。東京都杉並区のしんきゅう師、八方(はっぽう)順子さん(57)も背中を押された一人。スキューバダイビング、都心への通勤、母の介助——。八方さんは言う。「盲導犬と出会い、私の世界は広がった」【町田結子】

誕生から55年

9月23日、沖縄県うるま市沖。40分ほどの海中散歩を終えた八方さんは、ボートで待っていたシルエラ(雌、6歳)に「ただいま!」と声をかけた。しっぽをブンブン振り寄ってくる姿はまるで「おかえりなさい」と迎えてくれているようだ。

44歳の時、憧れだったダイビングに初挑戦した。それから毎年のように、沖縄の海に通う。浮力で軽くなった体を自由に動かし、海底の砂やサンゴ礁を触

る感覚が心地よい。海の世界を知るきっかけは、盲導犬との出会いだった。

都内の総合病院に勤めていた30歳のころ、よく壁や柱にぶつかるようになった。網膜色素変性症。視野が徐々に狭くなり、視力をなくしていった。「なんで自分が」。両親に八つ当たりし、1人の時は泣いた。「もう、何もできない」

白杖(はくじょう)での生活を始めていたが、外を歩くのが怖かった。人混みで踏まれては曲がるつえ。自宅から20メートル先のバス停さえ遠く感じ、行動範囲は狭くなった。ある日、新宿駅で電車が入る直前のホームから転落した。自治体に相談したところ、練馬区の盲導犬育成施設「アイメイト協会」を紹介された。

盲導犬との歩行訓練を受けた初日。人や自転車にぶつからず、街中をスイスイ歩けることに感動した。白杖を使っていた時のように神経をとがらせる必要

もない。「盲導犬と一緒になら、どこへでも行ける」。4週間の訓練が終わらないうち、沖縄のいここに電話をかけ、自分で飛行機を予約した。父が亡くなった翌年の02年、母の体が弱り始めたが「盲導犬がいれば母に何かあっても対応できる」と不安はなかった。働きながら家事をこなし、夜中のトイレや入浴の介助もした。そんな生活を母が亡くなるまで約8年間続けた。

現在は東京・池袋の会社に勤める。4年前に来た2頭目の相棒、シルエラと毎朝7時半に家を出て満員電車で揺られる。

行動的な八方さんは、シルエラとの相性が抜群だと感じている。「これから2人で元気に歩いていこうね」。水泳、ヨット、海外旅行。やりたいことはまだまだある。

都心に通勤、母の介助を8年 憧れのダイビングも

訓練に理解不足 育成追いつかず

日本盲人社会福祉施設協議会(日盲社協、東京都)によると、国内の盲導犬実働数は1043頭(12年3月現在)。育成施設は全国に10カ所あり、シルエラを育てたアイメイト協会は実働数が283頭と最多だ。

同協会の前身・東京盲導犬協会の創設者、塩屋賢一氏が国産第1号を育てたのは1957年。東日本大震災の被災地でも活躍し、「盲導犬がいなければがれきの街を歩くこともできなかった」との声も届いたという。

盲導犬の普及を目指す認定NPO法人・全国盲導犬施設連合会(東京都)によると、希望者は全国で推計3000~4000人だが、社会の理解不足が壁になり育成が追いつかない。鉄道やバスの事業者に実践的な訓練への協力を求めても、構内の使用を断られることがあるといい、日盲社協は9月、訓練への理解が広がるよう厚生労働省などに要望した。

毎日新聞の紙面(縮小)

盲導犬が世界広げた

日本では初めて盲導犬が誕生して55年。以来、盲導犬は視覚障害者の歩行補助に欠かせない。社会の理解不足が壁になり育成が追いつかない。鉄道やバスの事業者に実践的な訓練への協力を求めても、構内の使用を断られることがあるといい、日盲社協は9月、訓練への理解が広がるよう厚生労働省などに要望した。

都心に通勤、母の介助を8年 憧れのダイビングも

9月23日、沖縄県うるま市市。40歳ほどの若中股を脱ぎ、八方さんは、ボートで待っていたシルエラ。船、6時に「ただいま」と声をかけた。しばらくをソファで待っている。しばらく「おかしな感じがする」と思っていた。44歳の時、憧れたダイビングに初挑戦した。それから毎



スキューバダイビングを終え、沖縄県読谷村の港に戻った八方順子さん。盲導犬のシルエラはボートの上で迎えてくれる—海洋写真家・案納昭則さん提供

■写真説明

スキューバダイビングを終え、沖縄県読谷村の港に戻った八方順子さん。盲導犬のシルエラはボートの上で迎えてくれる—海洋写真家・案納昭則さん提供

※毎日新聞社から許可をいただいて
転載しています。

今号は本当に
盛りだくさん！

New Goods紹介

●お買い上げ2,000円以上で全国送料無料♪ ●ご注文はWeb・お電話・E-mailのどれでもOK！



「EYEMATE」の刻印入り

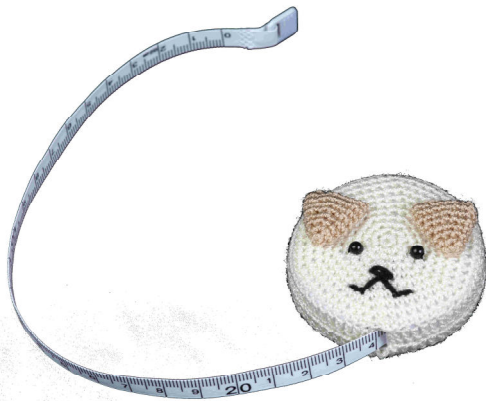
レザーキーホルダー：¥1,000
丈夫な牛革製の可愛いラブに骨付き。
リングの直径：約30mm



コットン100%のラブ柄ショール

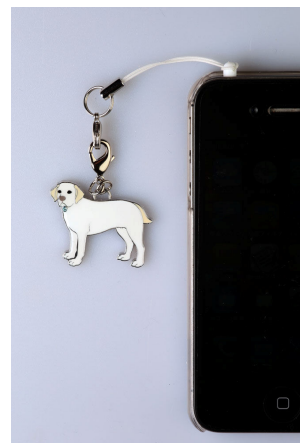
コットンショール：¥1,500

ラブのシルエットがランダムにプリントされたデザイン
ふんわり優しいシワ加工で、おしゃれと実用を兼ねて、
季節を問わずにご使用できます。綿100%
サイズ：約450mm×1,800mm(シワ加工状態)
使用生地の大きさは520mm×1,800mm



何でも測ってワン！

手編みラブ・メジャー：¥700
中央と押すと自動で戻ります。
本体の直径：53mm
テープの幅：8mm、長さ：1.5m



いつでもどこでも一緒♪

ラブチャームストラップ：¥800

チェーン・スマホブラグ付きなので、バッグやスマホ
にも付けられます。
ブラグをストラップから外せばガラ携帯でもOK！
チェーンの長さ：20cm

裏面には
「Eyemate」の刻印



豪華な輝きのラブ・ラブ・ラブ

スワロフスキー・ラブチャームストラップ: ¥6,300

片面にスワロを敷き詰めた豪華版のラブチャーム。
ひとつひとつ丁寧な手作りのスワロフスキーのデコアートです。



大事なカギをしっかりカバー

手編みキーカバー: ¥800

ラブのお腹にキーリングが付いています(フック付き)。
サイズ: ラブの縦50mm×横45mm



HBの鉛筆3本が付いてくる

手編み鉛筆カバー: ¥800

ミニのラブを鉛筆の頭に差し込みます
サイズ: 縦420mm×横340mm

＜ご購入方法＞

【送料】 2,000円以上お買上げ全国送料無料 ※2,000円未満は500円(北海道・四国・九州・沖縄は1,000円)

【お支払】 代引き・銀行振り込み・カード決済

【ご注文】 Web: 「アイメイトグッズショップ」 / E-mail: eyemate-goods@jcom.home.ne.jp

TEL: 03-3878-7353 / Fax: 03-3675-8588(鈴木節子)